

道徳教育方法研究

第5号

1999

I. 論文

1. 小学校におけるコールバーグ理論を導入した道徳授業の可能性と限界
—コールバーグ理論と文部省「道徳」との比較研究—
庄司 量士
2. 思いやり意識の性差
田村 博久
3. 心の教育・命を大切にする教育を考える
—「限りある生命」の授業実践を通して—
淀澤 勝治
4. 生徒の印象に残る道徳授業
西村 日出男
5. 高校における在り方生き方教育についての一考察
南谷 為朝 / 徳永 悦郎
6. 道徳授業の導入に関する研究
藤田 善正
7. 中学生の道徳的価値意識形成についての実践的研究
品川 利枝
8. 教室の人間関係に根ざす道徳教育試論
渡邊 満
9. 実践をもとにした「ジレンマ授業批判」分析・そのⅡ
—宇佐美寛氏の指摘に応える—
徳永 悦郎

Ⅱ. シンポジウム 総合的な学習の時間は道德の時間とどうかかわるか

1. 問題提起

2. 発表者論文、指定討論者発言要旨、司会者のまとめ

(1) 総合的な学習の時間と道德教育

白木 みどり

(2) 総合的な学習の時間は道德の時間とどうかかわるか

林 泰成

(3) 指定討論者発言要旨

総合的な学習の時間は道德の時間とどうかかわるか

佐野 安仁

(4) 司会者のまとめ

道德教育と総合的な学習の時間

—総合的な学習の時間は道德の時間とどうかかわるか—

七條 正典

Ⅲ. 会務報告

Ⅳ. 日本道德教育方法学会会則

Ⅴ. 『道德教育方法研究』投稿規定

Ⅵ. 欧文サマリー

編集後記